

皆さまと一緒にやりたいこと

宇宙医学・健康管理技術に係る研究開発の進め方について

JAXA 宇宙飛行士健康管理グループ
グループ長 込山 立人

どんな研究開発を目指すのか

2

1

オープンイノベーション
的な手法で研究開発を進
めたい

2

将来探査ミッション（＝
国際協力）で成果が使わ
れるようにしたい

3

民間ビジネス（地上医療
や宇宙旅行など）に貢献
したい

① オープンイノベーション的な手法 で研究開発を進めたい

3

- ▶ JAXAは、情報提供者との間で対話を行いつつ、一緒に研究開発計画を練り上げていきます。
- ▶ JAXAと情報提供者との間の連携の形態は定型化しません。
⇒ 研究開発ごとに最善の形態を情報提供者との対話の中で決めていきます。
- ▶ 当初の研究開発計画の策定においては対象としませんが、研究開発を進めるうえで必要であれば、「きぼう」の利用や、ISS健康管理運用の場（ISSへの搭載機会を含む）を活用できるように検討します。（当初の研究開発計画では、宇宙実証の手前までを対象とします）

② 将来探査ミッション（＝国際協力） で成果が使われるようにしたい

4

- ▶ 当該技術を必要とする探査ミッションに間に合うように研究開発を完了させることを目指します。
- ▶ 各探査ミッションごとに当該技術がなかった場合に想定されるリスクの程度が大きい研究開発に優先的に着手します。
- ▶ 日本の優位性・独自性を示すことができる研究開発に優先的に着手します。
- ▶ 関連分野の複数の技術ギャップをパッケージで一体的に解決できるような研究開発に優先的に着手します。

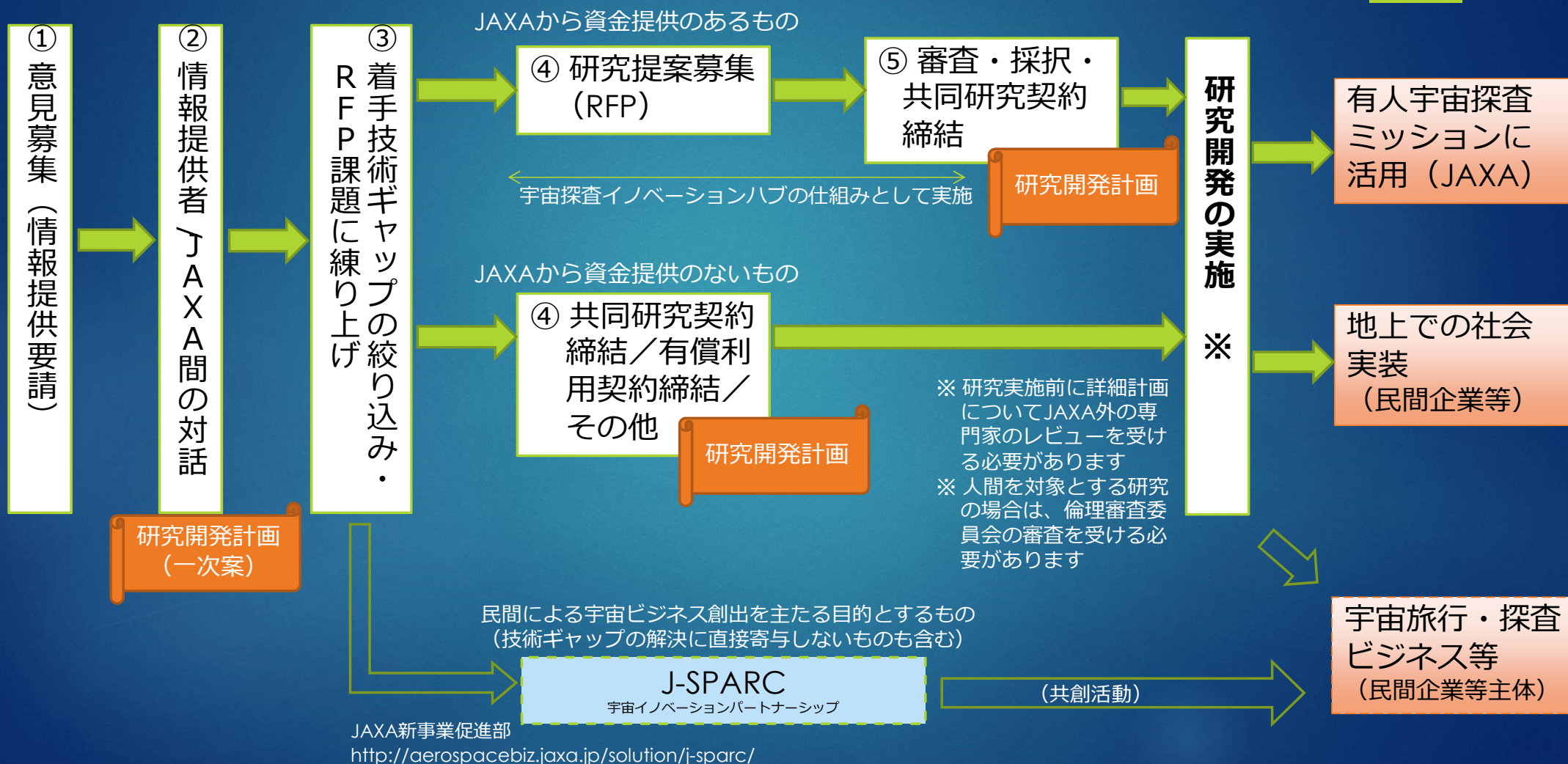
③ 民間ビジネス（地上医療や宇宙旅行など）に貢献したい

5

- ▶ 民間ビジネスへの波及効果のある研究開発に優先的に着手します。
- ▶ 事業化に向けては、本研究開発の中で宇宙向け R & D と企業ニーズのマッチング（自己投資）による研究加速（実用化研究の手前までの技術レベルへ引き上げ）を狙います。
(宇宙探査イノベーションハブと同じコンセプト)

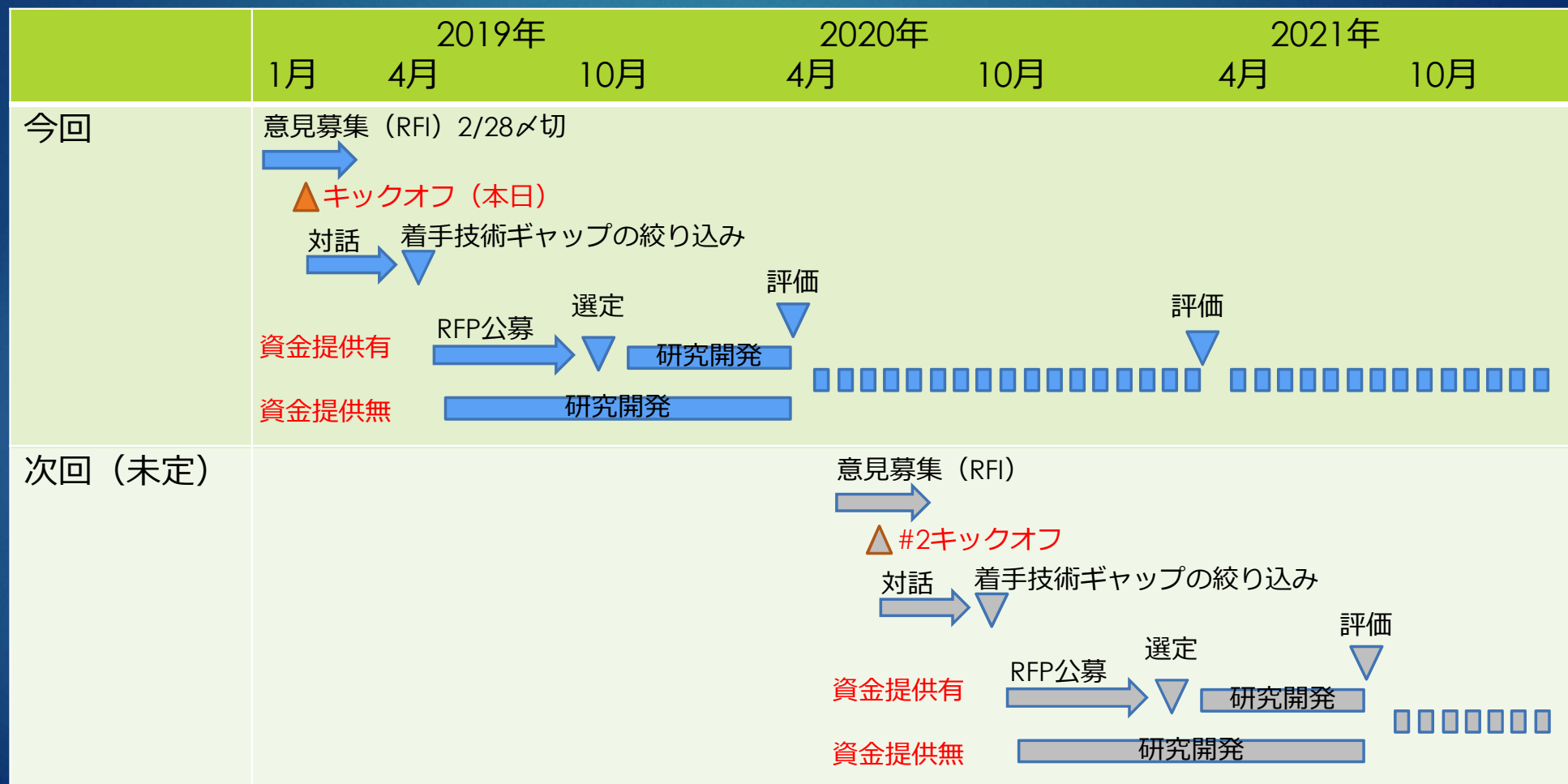
意見募集（情報提供要請）から成果創出までの流れ

6



今後のスケジュール

7



皆さまと一緒に研究開発できることを
楽しみにしています。

多くの皆さまからのご意見・ご提案をお待ちしています！